

「久慈市第3期子ども・子育て支援事業計画」 策定のためのアンケート調査 結果報告書(概要版)

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「第3期久慈市子ども・子育て支援事業計画（令和7～11年度）」の策定を進めるにあたり、子育て家庭の生活状況や市の施策に対する、保護者の方の意見・要望を把握し、久慈市の新しい子育て支援策を検討するため、調査を実施しました。

(2) 調査の対象と実施方法

- 調査対象：久慈市在住の就学前児童がいる家庭の保護者
- 調査期間：令和6年4月16日～令和6年5月13日
- 調査方法：WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数	回収率
696 票	334 票	48.0%

- 調査対象：久慈市在住の小学生児童がいる家庭の保護者
- 調査期間：令和6年4月16日～令和6年5月13日
- 調査方法：WEB回答
- 配布・回収：

配布数	回収数	回収率
708 票	287 票	40.5%

(3) 調査報告書の見方

百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出しています。本文及び図中の数字に関しては、全て小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。このため、全ての割合の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が100%を超えることがあります。

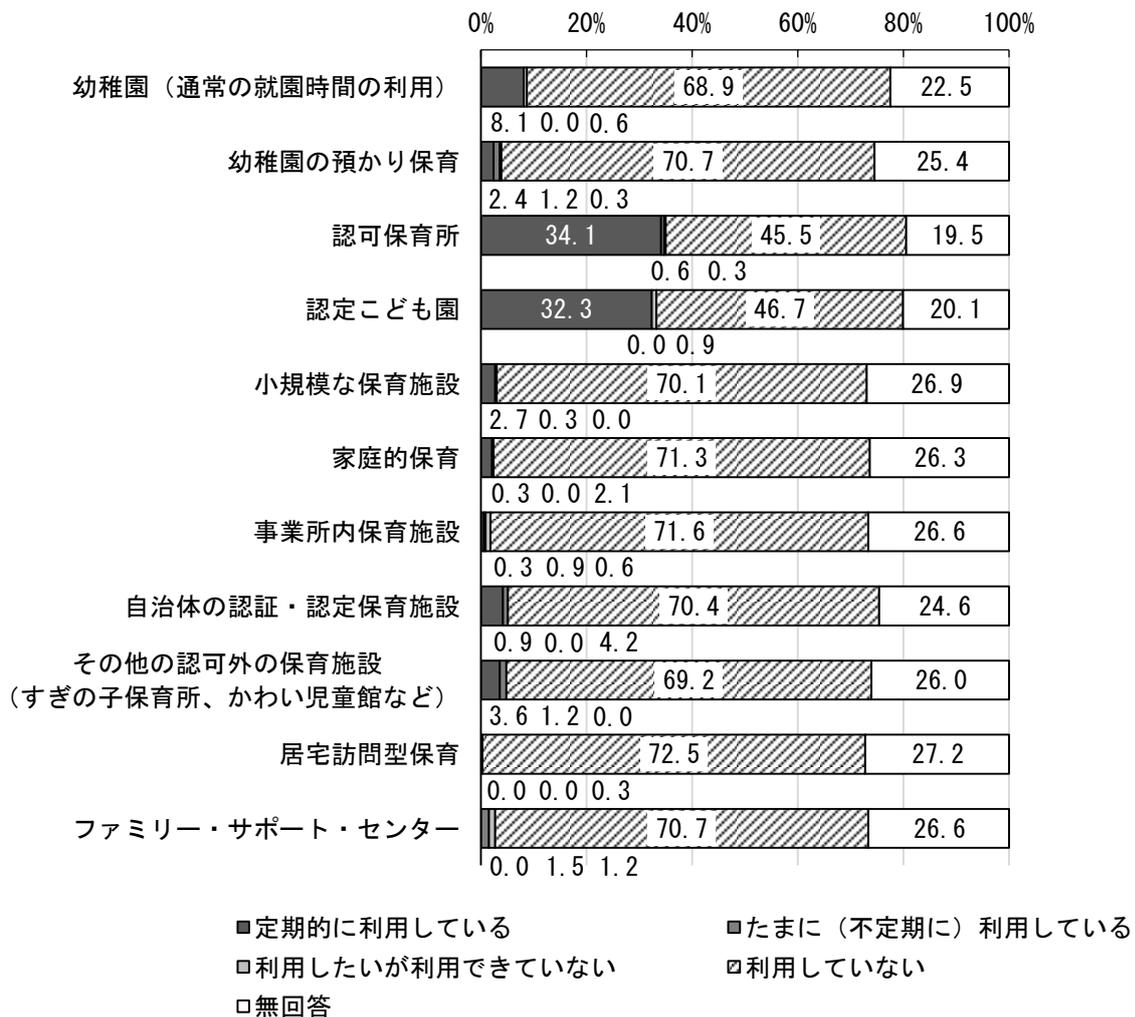
2 調査の結果概要（就学前児童）

（1）「定期的」な教育・保育の利用状況について

○「定期的」な教育・保育事業の利用状況

現在定期的に利用している事業は、「認可保育所」が34.1%と最も高く、次いで「認定こども園」が32.3%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が8.1%となっています。利用していない割合は、「認可保育所」「認定こども園」以外では7割前後となっています。

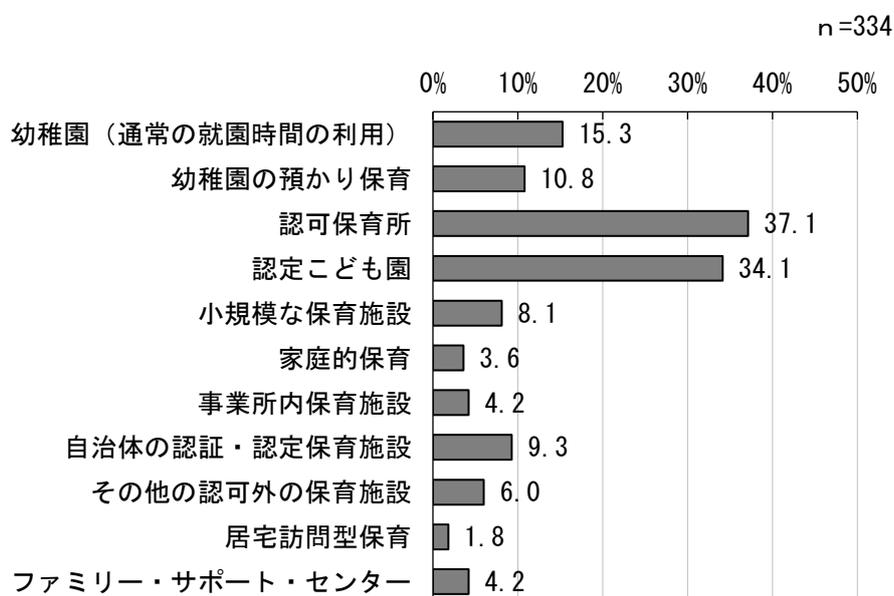
n=334



○今後の「定期的な」教育・保育事業の利用の有無

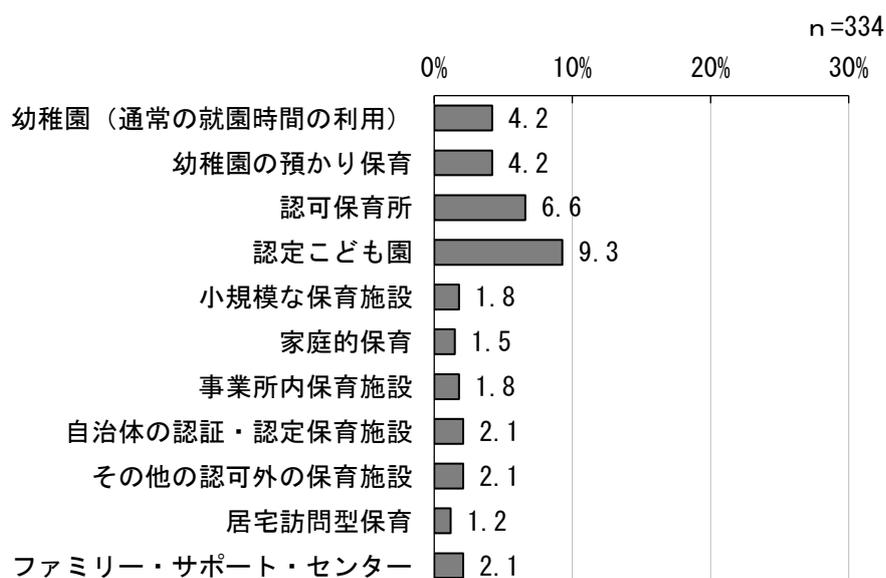
【平日】

今後、平日に定期的に利用したい事業は、「認可保育所」が37.1%と最も高く、次いで「認定こども園」が34.1%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が15.3%となっています。



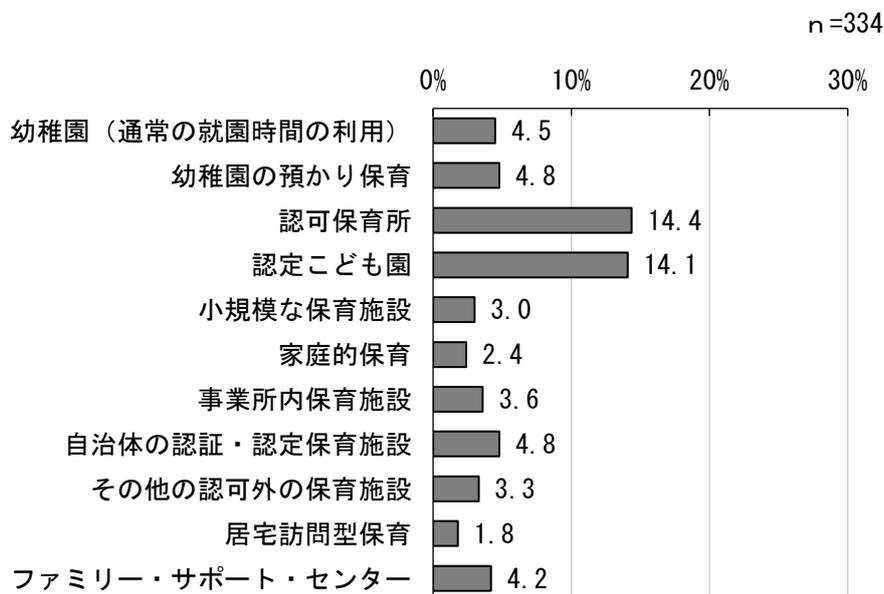
【お子さんの長期休暇期間中】

今後、子どもの長期休暇期間中に定期的に利用したい事業は、「認定こども園」が9.3%と最も高く、次いで「認可保育所」が6.6%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」「幼稚園の預かり保育」がそれぞれ4.2%となっています。



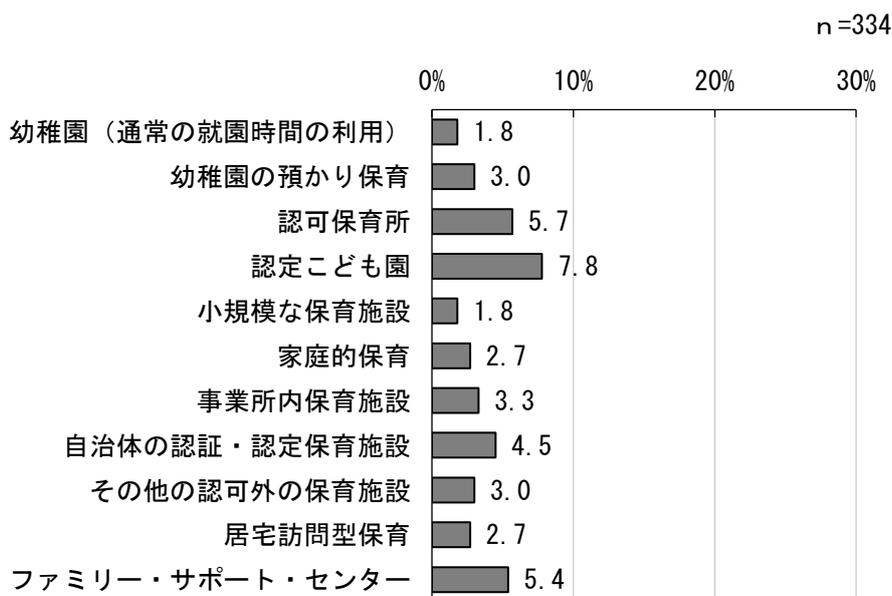
【土曜日】

今後、土曜日に定期的にご利用したい事業は、「認可保育所」が14.4%と最も高く、次いで「認定こども園」が14.1%、「幼稚園の預かり保育」「自治体の認証・認定保育施設」がそれぞれ4.8%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が4.5%となっています。



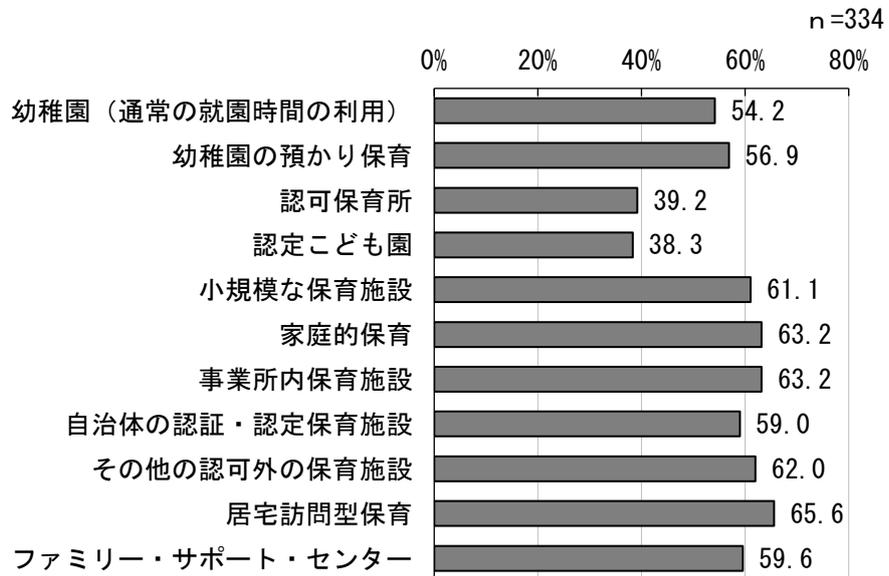
【日曜・祝日】

今後、日曜・祝日に定期的にご利用したい事業は、「認定こども園」が7.8%と最も高く、次いで「認可保育所」が5.7%、「ファミリー・サポート・センター」が5.4%となっています。



【利用希望はない】

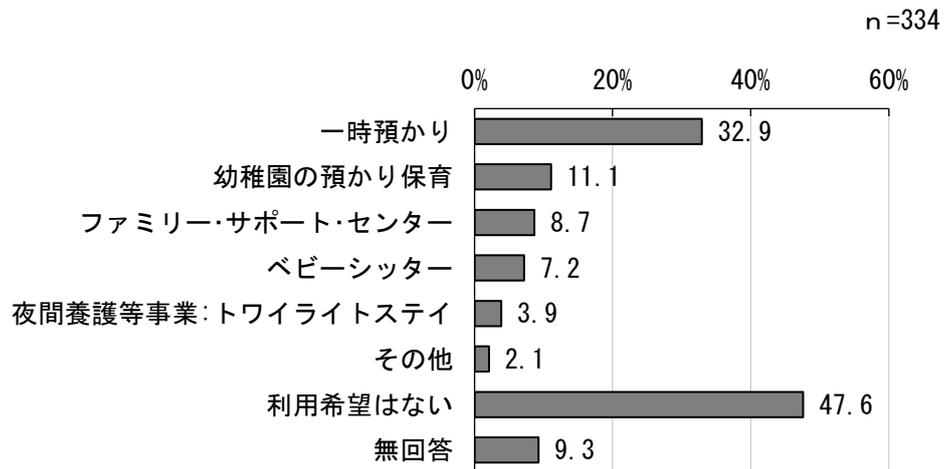
今後、利用を希望はない事業は、「居宅訪問型保育」が65.6%と最も高く、次いで「家庭的保育」「事業所内保育施設」がそれぞれ63.2%、「その他の認可外の保育施設」が62.0%となっています。



(2) 「不定期」な教育・保育の利用状況について

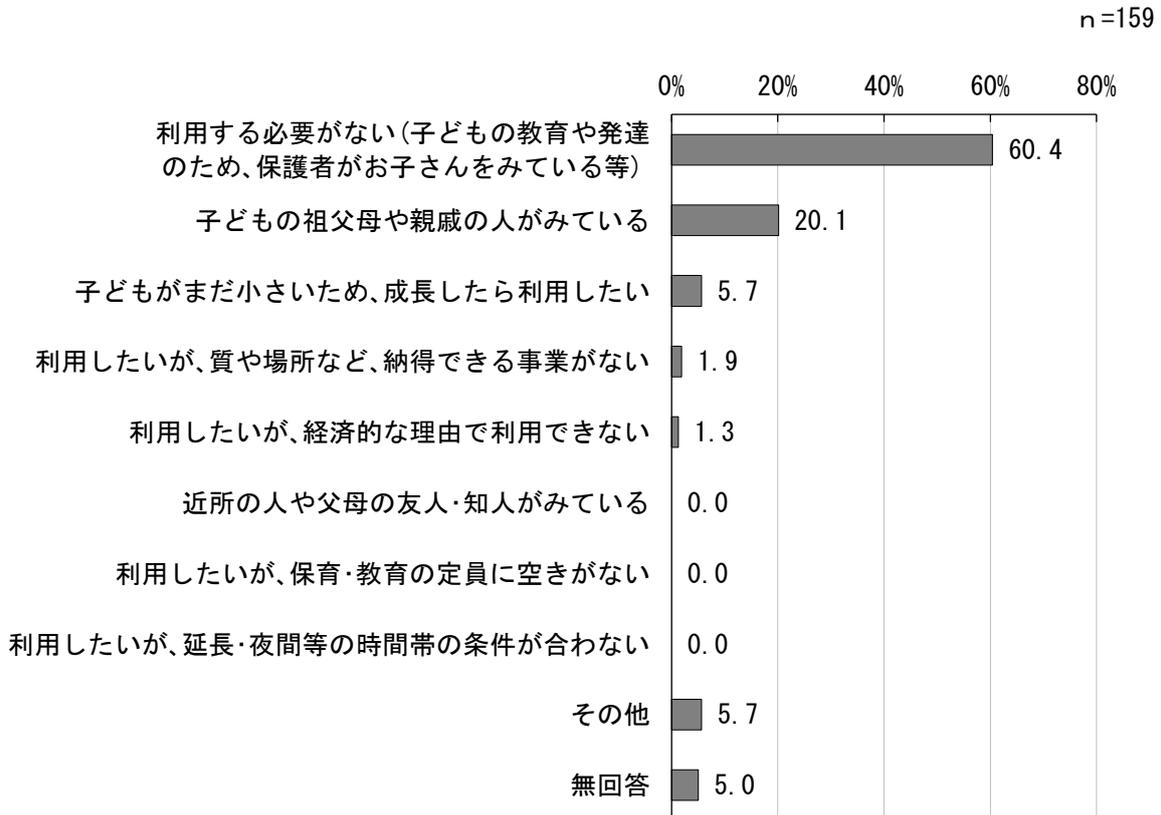
○ 「不定期に」利用したい一時預かり事業の有無

今後、不定期に利用したい一時預かり事業の有無は、「利用希望はない」が47.6%と最も高く、次いで「一時預かり」が32.9%、「幼稚園の預かり保育」が11.1%、「ファミリー・サポート・センター」が8.7%となっています。



○一時預かり事業の利用を希望しない理由

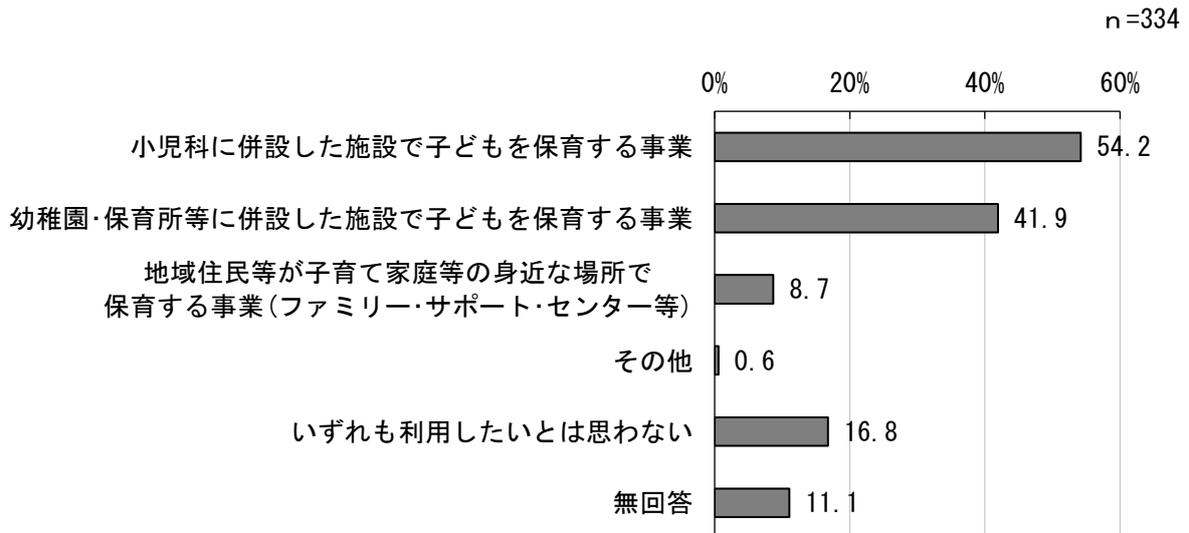
一時預かり事業の利用を希望しない理由は、「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、保護者がお子さんをみている等）」が60.4%と最も高く、次いで「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が20.1%、「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が5.7%となっています。



(3) お子さんの病気やけがの際の対応について

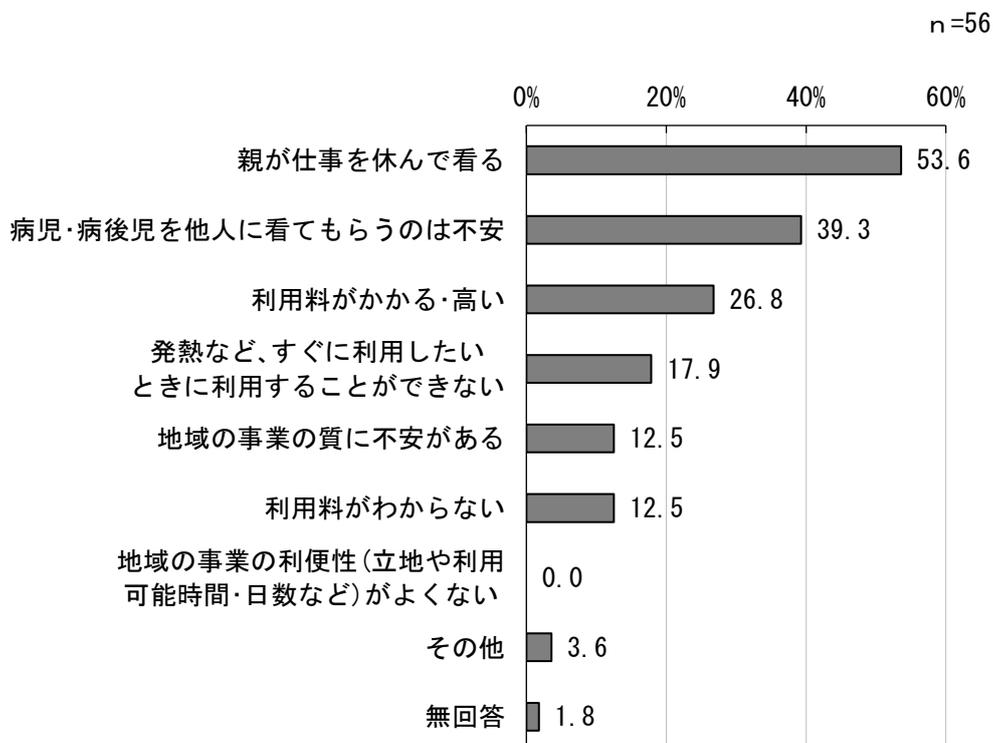
○病児・病後児保育の利用意向

子どもが病気やけがの際、利用したい病児・病後児保育施設は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が54.2%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が41.9%、「いずれも利用したいとは思わない」が16.8%となっています。



○保育施設を利用したいと思わない理由

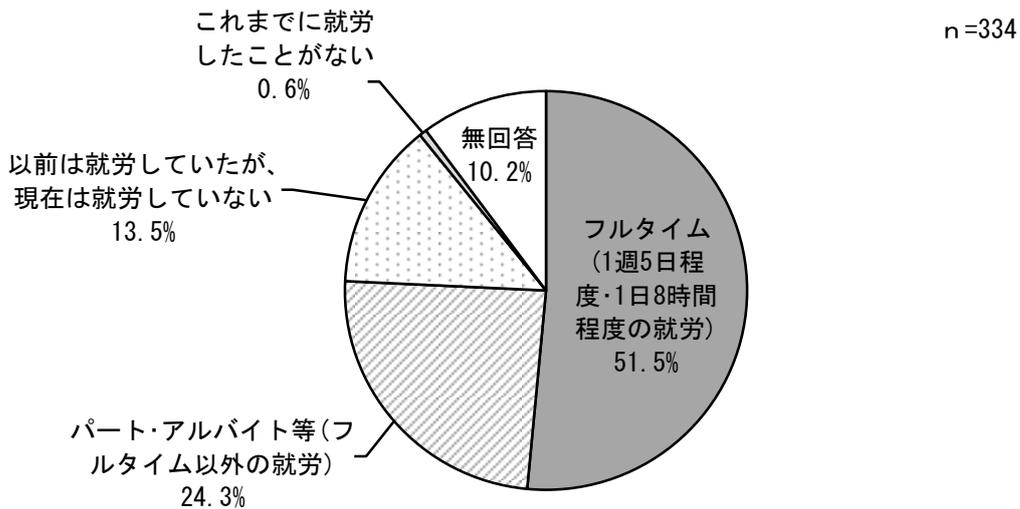
保育施設を利用したいと思わない理由は、「親が仕事を休んで見る」が53.6%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が39.3%、「利用料がかかる・高い」が26.8%となっています。



(4) 保護者の就労状況について

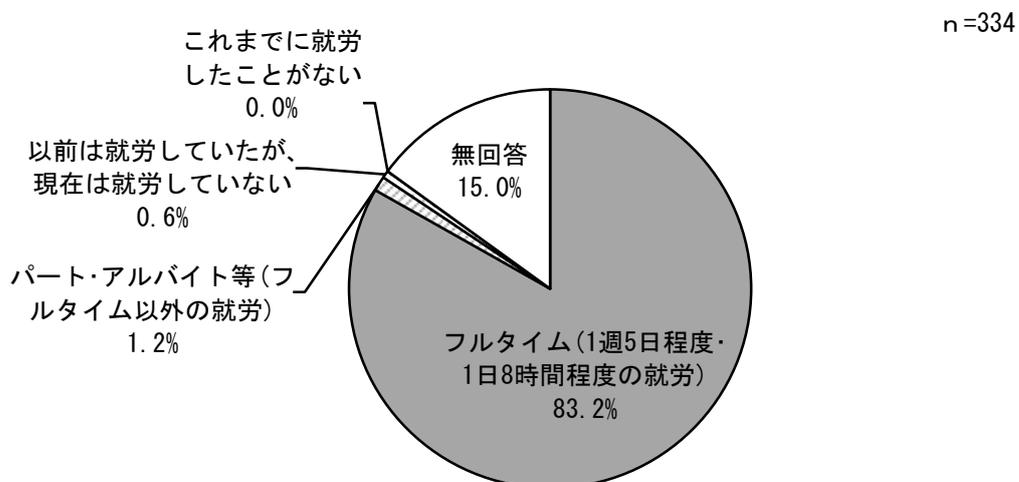
○母親の就労形態

母親の就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が51.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が24.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が13.5%、「これまでに就労したことがない」が0.6%となっています。



○父親の就労形態

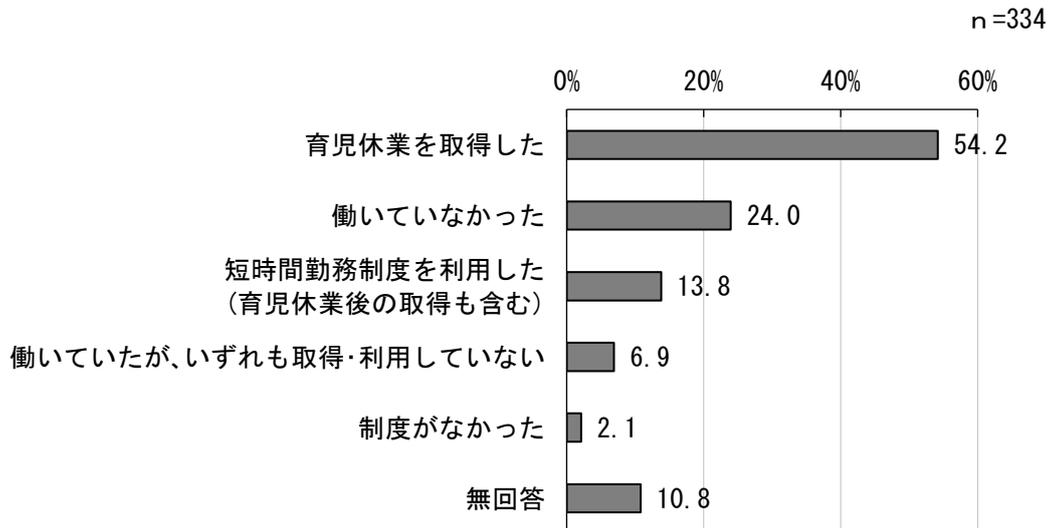
父親の就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が83.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が1.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.6%となっています。



(5) 育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援について

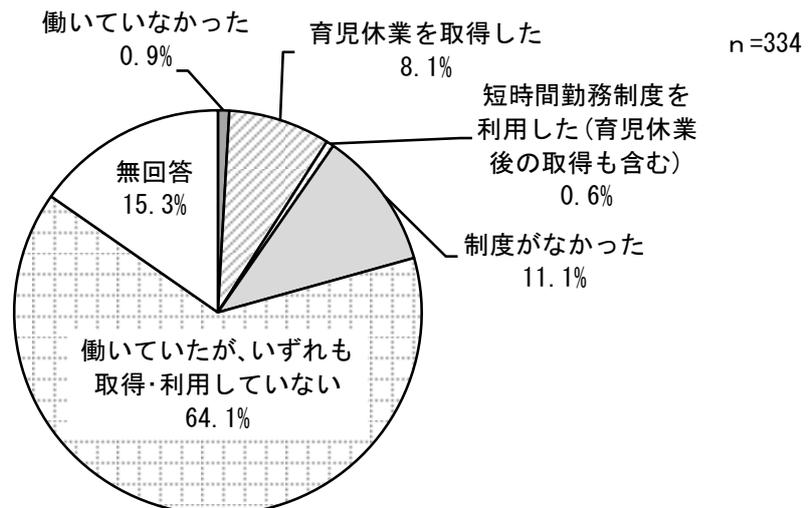
○母親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

子どもが生まれたときの育児休業制度・短時間勤務制度の取得状況は、「育児休業を取得した」が54.2%と最も高く、次いで「働いていなかった」が24.0%、「短時間勤務制度を利用した（育児休業後の取得も含む）」が13.8%となっています。



○父親の育児休業制度・短時間勤務制度の利用状況

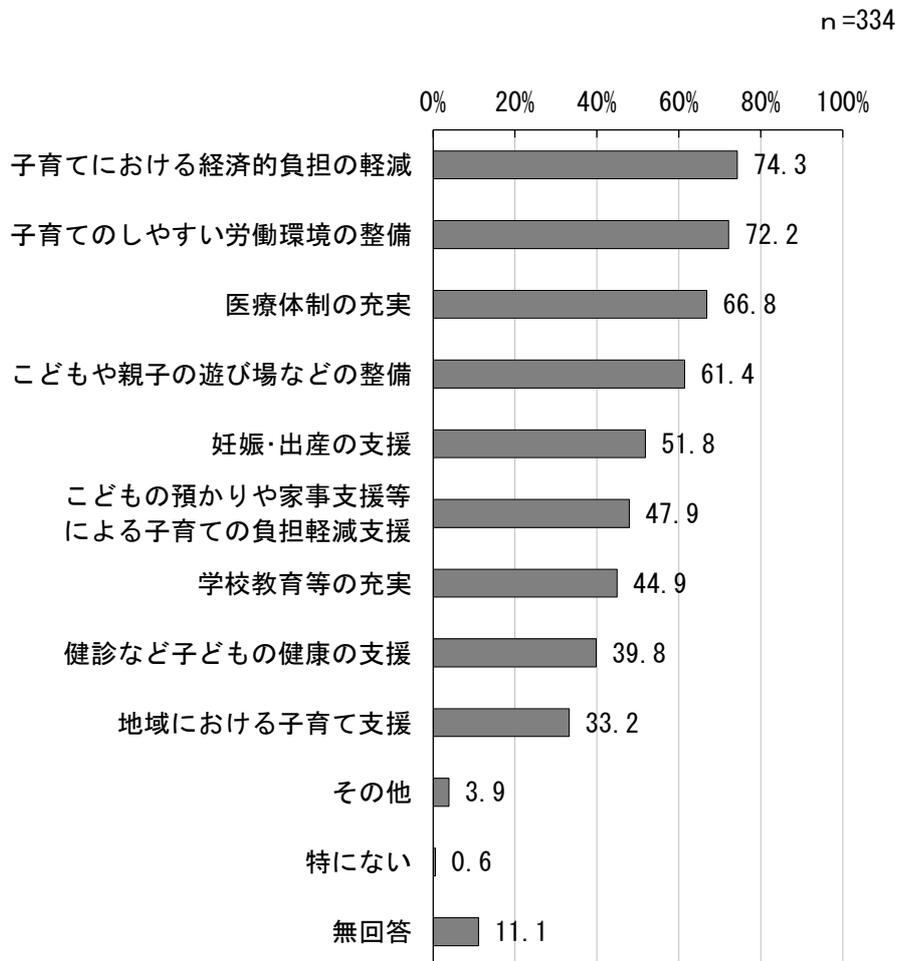
子どもが生まれたときの育児休業制度・短時間勤務制度の取得状況は、「働いていたが、いずれも取得・利用していない」が64.1%と最も高く、次いで「制度がなかった」が11.1%、「育児休業を取得した」が8.1%となっています。



(6) 子育て環境全般への評価や意向

○望ましい子育て支援施策

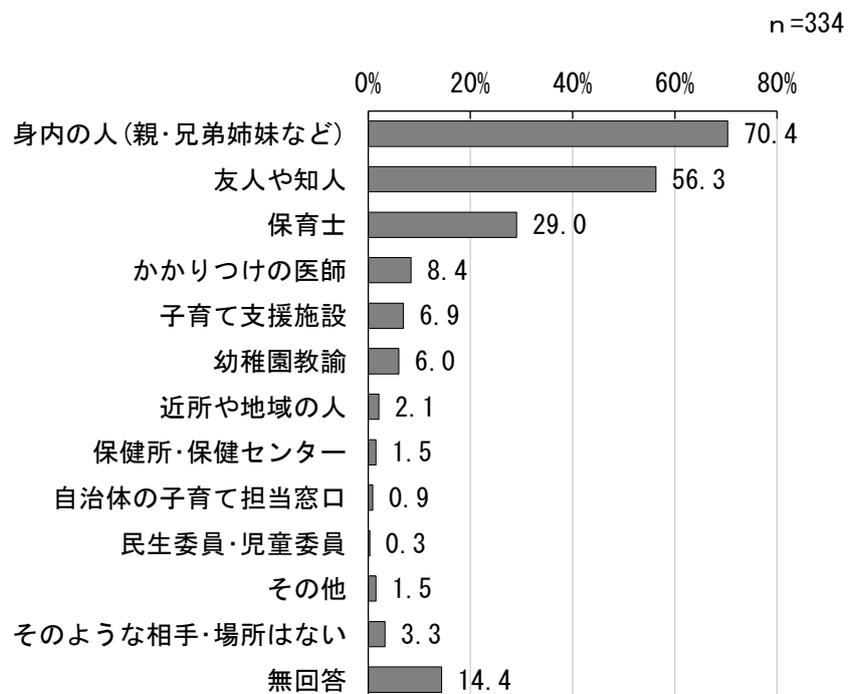
望ましい子育て支援施策は、「子育てにおける経済的負担の軽減」が74.3%と最も高く、次いで「子育てのしやすい労働環境の整備」が72.2%、「医療体制の充実」が66.8%となっています。



(7) 子どもの育ちをめぐる環境について

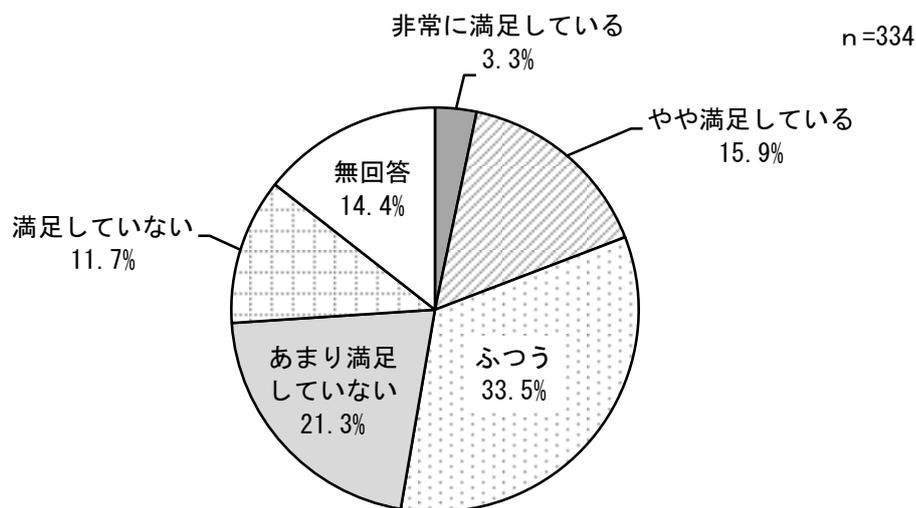
○子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所

子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手や場所は、「身内の人（親・兄弟姉妹など）」が70.4%と最も高く、次いで「友人や知人」が56.3%、「保育士」が29.0%となっています。



○子育て環境や支援の満足度

居住地における子育て環境や支援の満足度は、「ふつう」が33.5%と最も高く、次いで「あまり満足していない」が21.3%、「やや満足している」が15.9%、「満足していない」が11.7%、「非常に満足している」が3.3%となっており、「非常に満足している」「やや満足している」を合わせた『満足している』は19.2%、「満足していない」「あまり満足していない」を合わせた『満足していない』は33.0%となっています。

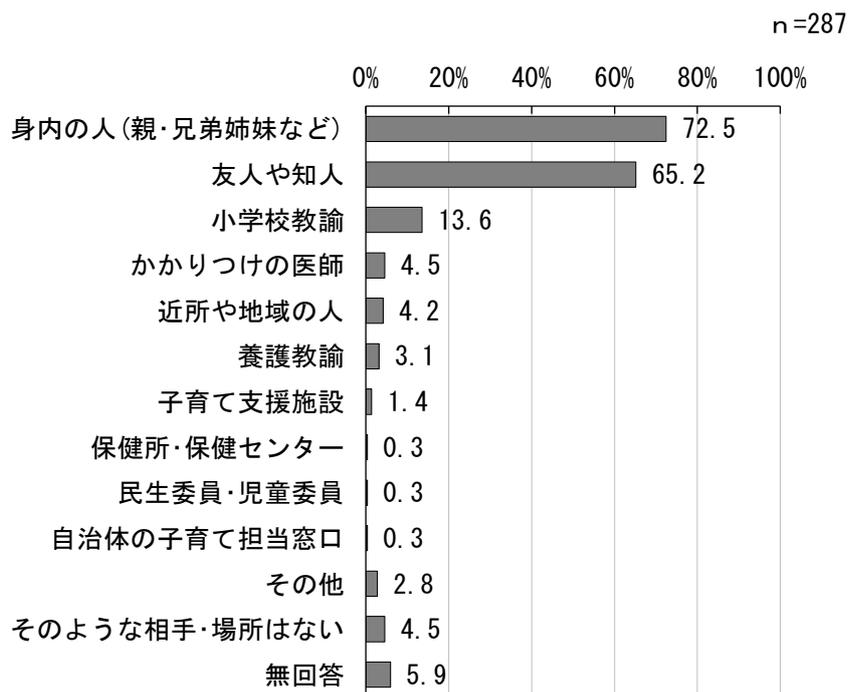


3 調査の結果概要（小学生）

（1）子どもの育ちを巡る環境について

○子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手・場所

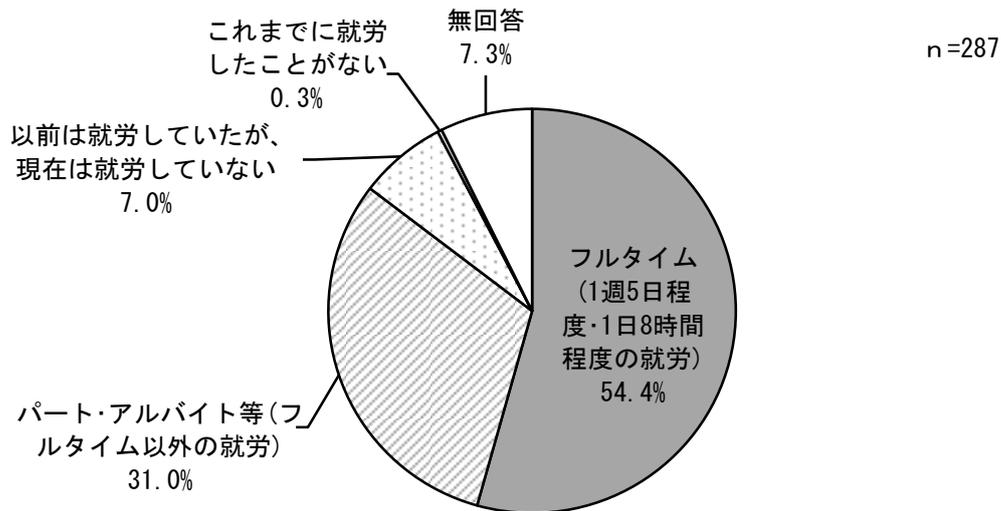
子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手や場所は、「身内の人（親・兄弟姉妹など）」が72.5%と最も高く、次いで「友人や知人」が65.2%、「小学校教諭」が13.6%となっています。



(2) 保護者の就労状況について

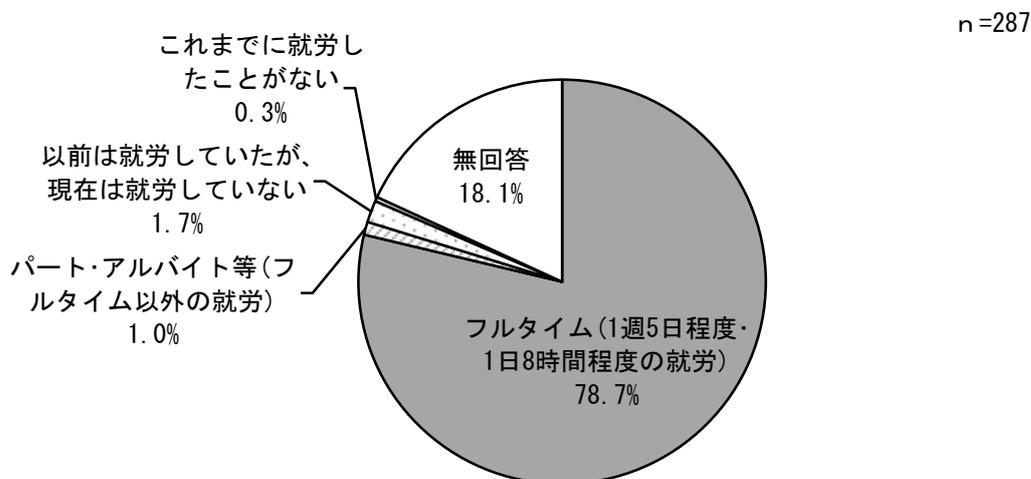
○母親の就労形態

母親の就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が54.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が31.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が7.0%、「これまでに就労したことがない」が0.3%となっています。



○父親の就労形態

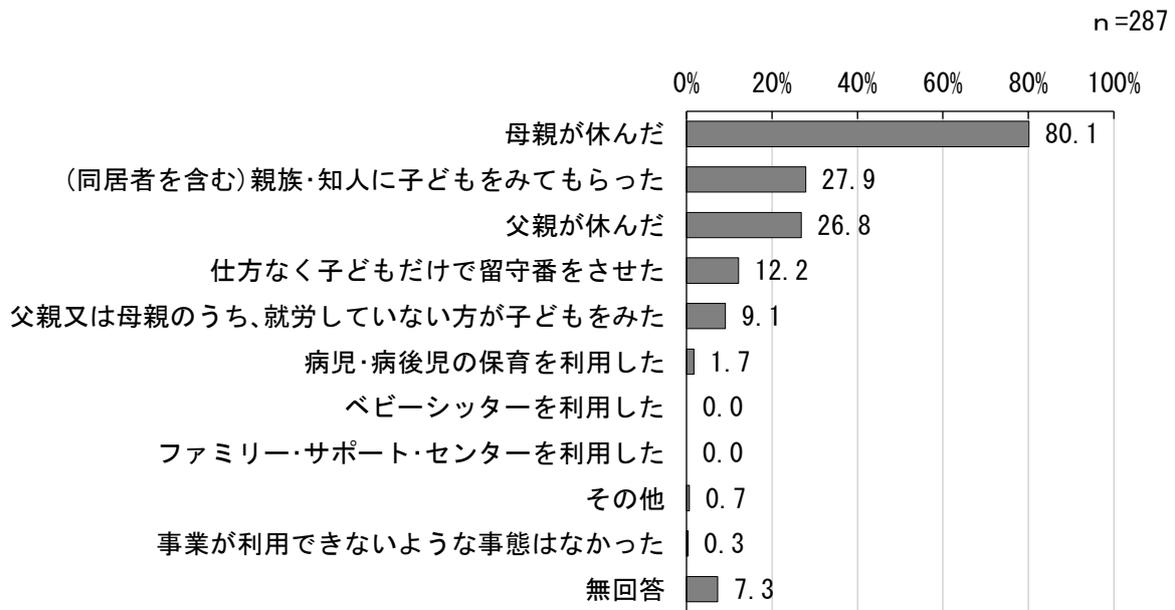
父親の就労形態は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が78.7%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.7%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）」が1.0%、「これまで就労したことがない」が0.3%となっています。



(3) お子さんの病気やけがの際の対応について

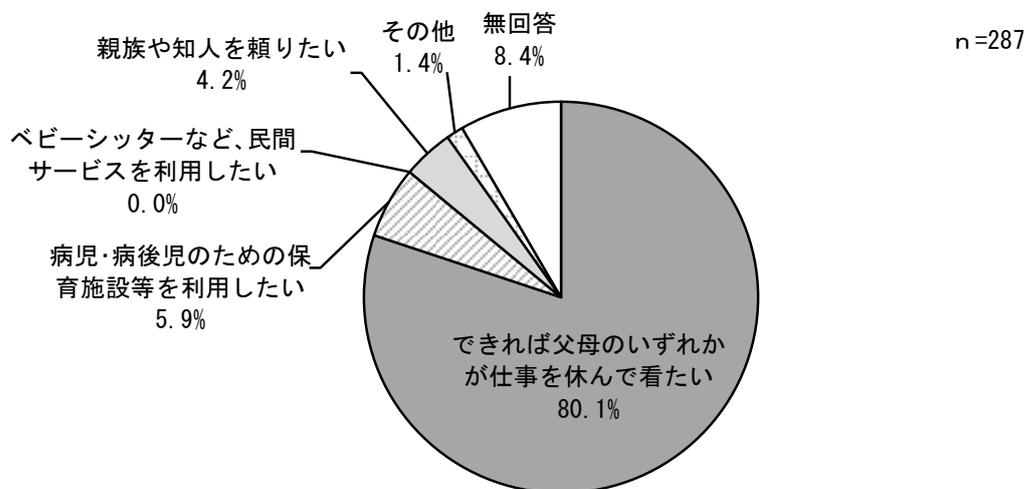
○病気やけがの際行った対処方法

子どもが病気やけがの際、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」が80.1%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が27.9%、「父親が休んだ」が26.8%となっています。



○お子さんが病気やけがの際に希望する対応

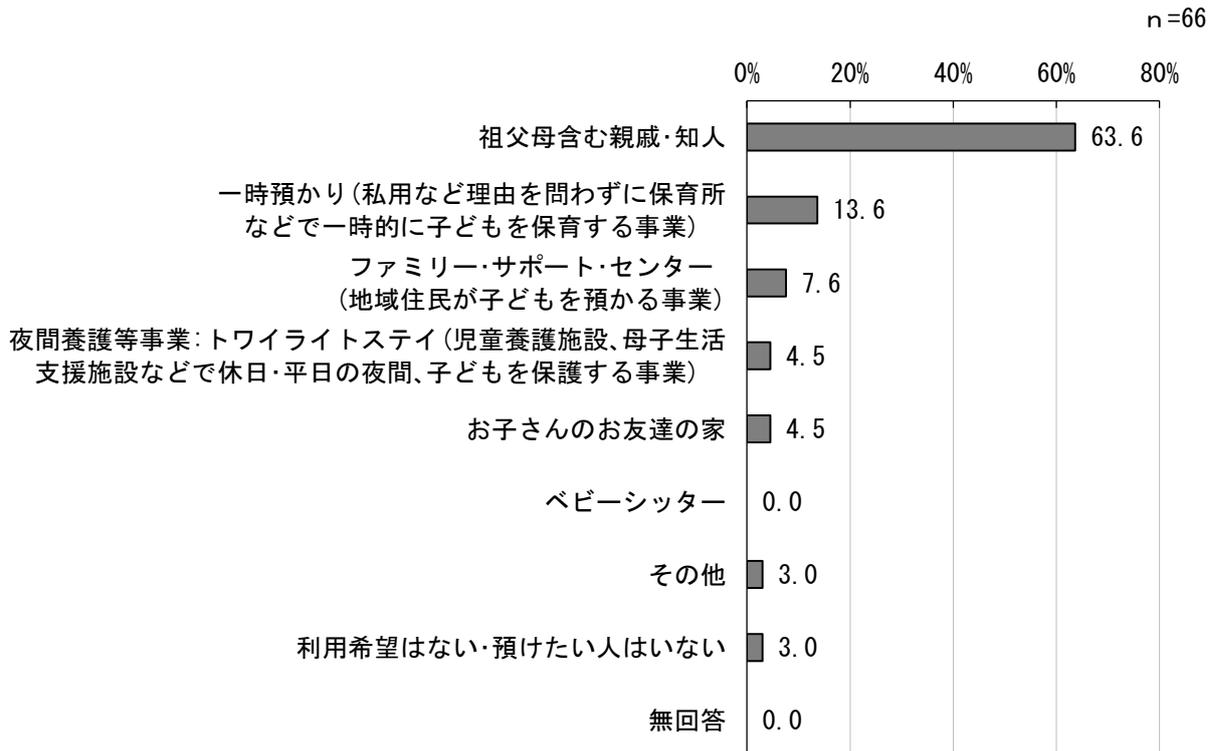
子どもが病気やけがの際に希望する対応は、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」が80.1%と最も高く、次いで「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」が5.9%、「親族や知人を頼りたい」が4.2%となっています。



(4) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

○お子さんを預ける際に利用したい事業

子どもを家族以外に預ける際に利用したい預け先は、「祖父母含む親戚・知人」が63.6%と最も高く、次いで「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が13.6%、「ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）」が7.6%となっています。

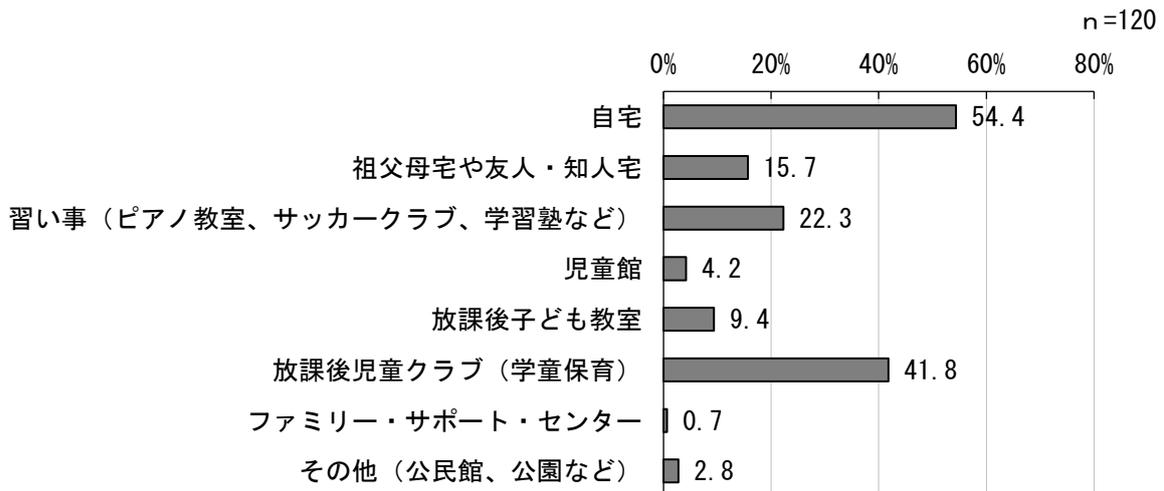


(5) 放課後の過ごし方について

○放課後過ごさせたい場所

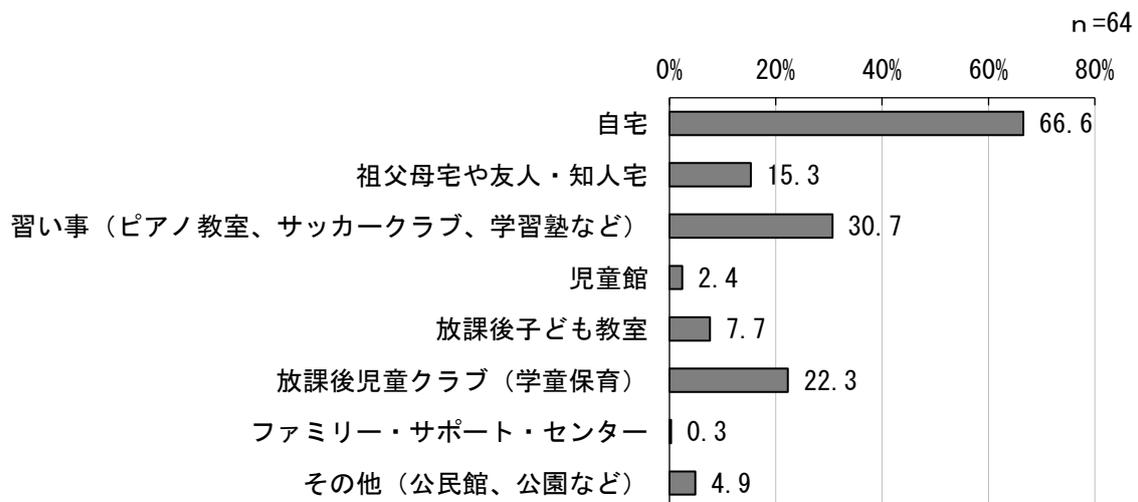
【1～3年生】

放課後過ごさせたい、または過ごしていた場所は、「自宅」が54.4%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）」が41.8%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が22.3%となっています。



【4～6年生】

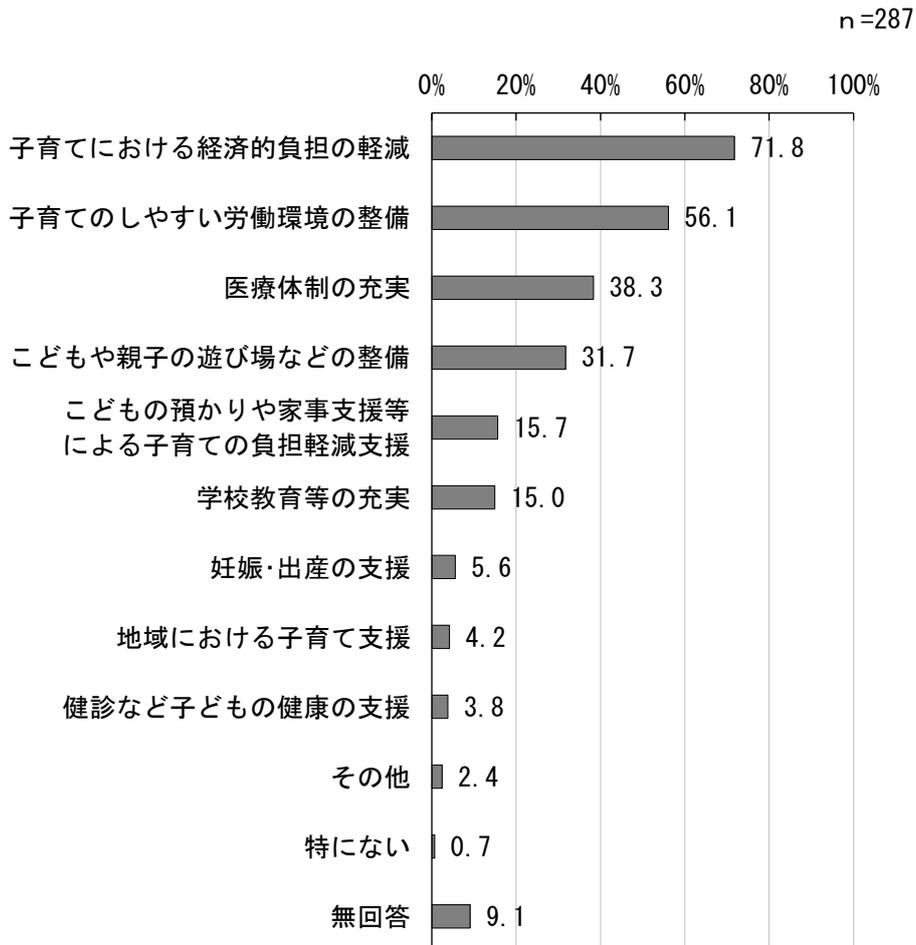
放課後過ごさせたい、または過ごしていた場所は、「自宅」が66.6%と最も高く。次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が30.7%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が22.3%となっています。



(6) 子育て環境全般への評価や意向

○望ましい子育て支援施策

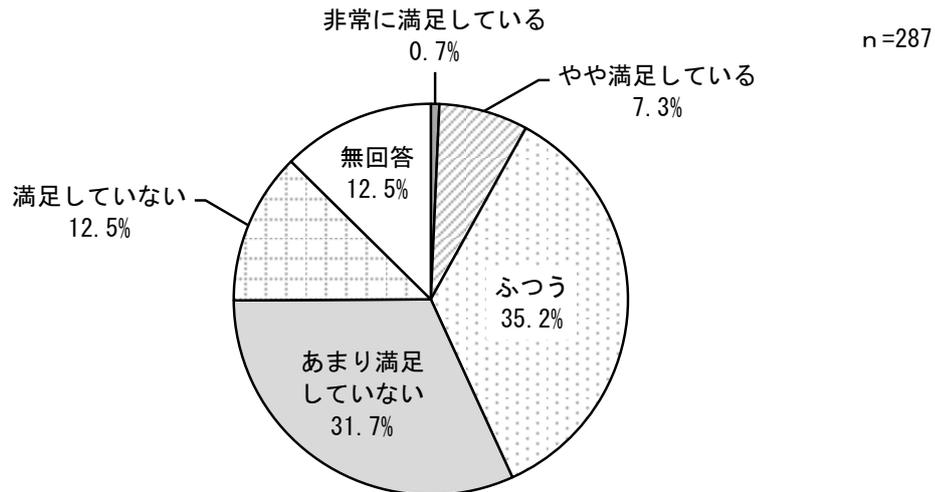
望ましい子育て支援施策は、「子育てにおける経済的負担の軽減」が71.8%と最も高く、次いで「子育てのしやすい労働環境の整備」が56.1%、「医療体制の充実」が38.3%となっています。



(7) 久慈市の子育て環境や支援について

○子育て環境や支援の満足度

居住地域における子育て環境や支援の満足度は、「ふつう」が35.2%と最も高く、次いで「あまり満足していない」が31.7%、「満足していない」が12.5%、「やや満足している」が7.3%、「非常に満足している」が0.7%となっており、「非常に満足している」「やや満足している」を合わせた『満足している』は8.0%、「満足していない」「あまり満足していない」を合わせた『満足していない』は44.2%となっています。



4 アンケート結果からみえる傾向

●「定期的な」教育・保育事業

「定期的な」教育・保育事業について、「認可保育所」を利用していると答えた就学前児童保護者は34.1%、「認定こども園」を利用していると答えた方は32.3%でした。「認可保育所」については37.1%、「認定こども園」については34.1%の方が平日の利用を希望していますが、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」も15.3%、「幼稚園の預かり保育」は約1割の方が利用を希望しています。「認可保育所」、「認定こども園」はもちろんのこと、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」や「幼稚園の預かり保育」における保育事業も充実させ、幅広いニーズに応える必要があります。

また、「認可保育所」については子どもの長期休暇期間中に6.6%、土曜日については14.4%の方が利用を希望しており、「認定こども園」についても14.1%の方が土曜日の利用を希望しています。

●「不定期な」教育・保育事業

不定期に利用したい一時預かり事業について、47.6%の就学前児童保護者が「利用希望はない」と答えていますが、その一方で「一時預かり」については32.9%の方が、「幼稚園の預かり保育」は11%程度の方が今後利用したいと答えています。利用を希望しない理由としては「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、保護者がお子さんをみている等）」は約6割、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」は約2割となっています。

小学生保護者では不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりについて「祖父母含む親戚・知人」が63.6%と最も多く、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が13.6%となっています。

●病児とその家族を支える事業

お子さんの病気やけがの際の病児・病後児保育の利用について、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」と答えた就学前児童保護者は54.2%、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」と答えた方は41.9%でした。一方で、16.8%の方が「いずれも利用したいとは思わない」と答えています。利用を希望しない理由としては、「親が仕事を休んで見る」が53.6%、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が39.3%、「利用料がかかる・高い」が26.8%となっています。また、「発熱など、すぐに利用したいときに利用することができない」、「地域の事業の質に不安がある」、「利用料がわからない」も一定数の方が回答しています。

小学生保護者では、子どもが病気やけがの際、「母親が休んだ」と答えた方が最も多く、病気やけがの際に希望する対応は「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」が約8割、次いで「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」が5.9%となっています。

●放課後の過ごし方

放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについて、小学生保護者では、1～3年生時においては「自宅」、「放課後児童クラブ（学童保育）」、4～6年生時においては「自宅」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が高くなっています。1～3年生時、4～6年生時いずれも「自宅」が高くなっていますが、1～3年生時において「放課後児童クラブ（学童保育）」が41.8%に対し、4～6年生時は22.3%となっています。

●子育てと子育て環境

久慈市の子育て環境や支援への満足度は、就学前児童保護者では「ふつう」が33.5%、「やや満足している」が15.9%となっています。一方で、「満足していない」、「あまり満足していない」は合わせて33%となっています。小学生保護者では「ふつう」が35.2%、次いで「あまり満足していない」が31.7%となっており、「満足していない（12.5%）」と合わせた割合は就学前児童保護者に比べて、11.2%高くなっています。

子育て支援施策について望まれていることとしては、就学前・小学生保護者ともに、「子育てにおける経済的負担の軽減」が最も高く、次いで「子育てのしやすい労働環境の整備」、「医療体制の充実」などがあげられます。

小学生保護者の子どもや子育てに関する相談先は、「親族（親・兄弟姉妹など）」が72.5%、「友人や知人」が65.2%と高くなっているのに対し、「子育て支援施設」や「自治体の子育て担当窓口」などは非常に低くなっています。